



梅谷市長と談笑する谷口さん（中央）

「ご長寿祝福—いつまでもお元気で」

高齢者福祉月間に合わせ、市内で本年度中に100歳を迎えられる15人に対して、養父市長から記念品が贈呈されました。9月12日、梅谷市長が大屋町宮本の谷口古とゑさん宅を訪問し、記念品と祝い金を贈ってご長寿を祝福しました。梅谷市長から長寿の秘けつを尋ねられた谷口さんは、「好き嫌いなく何でも食べています。老人会の行事に参加したり、毎日楽しく過ごしています」と答えました。また、健康のために、お手製の酢の物をほぼ毎日食べているそうです。

この日は、県立但馬長寿の郷の吉村幸男郷長も100歳を迎える方を訪問し、内閣総理大臣と兵庫県知事からの祝い状などを手渡しました。

なお、本年度末で市内在住の100歳以上の方は30人となります。



子ども歌舞伎の熱演に拍手喝采

9月27日、第6回せきのみや子ども歌舞伎公演（葛畑農村歌舞伎伝承会主催）が国指定重要有形民俗文化財「葛畑の舞台（芝居堂）」で行われました。

本公演では、市内の小中学生12人が、日本舞踊「元禄花見踊」と「越後獅子」、歌舞伎「京人形左彫」を上演。また、保護者の皆さんが裏方として公演を支えました。

京人形左彫は、彫りものの名人が作った京人形たちが動き出す「ミカルな狂言で、子どもたちは稽古の成果を存分に発揮して観客を魅了する演技を披露しました。

歌舞伎独特の演技を決める場面では、会場から大きな拍手と歓声が上がリ、多くのおひねりが舞台上に投げ込まれました。



▶観客を魅了した子ども歌舞伎

スクーリングで市民が講師に

8月26日、養父市誘致企業第1号として本年4月、旧大谷小学校跡に開校した通信制高等学校「ウィザス ナビ高等学校」で開校後初めてのスクーリング（面接授業）が行われ、大阪や熊本などから50人の生徒が参加しました。スクーリングでは、体育の授業のほか、地元住民を講師に招いて竹はしづくりや組みひも、手芸、いけばな、鉢花づくりなどを体験。ほとんどの生徒が初めて体験する内容ばかりで、講師に指導を受けながら授業に取り組んでいました。

「和の心」と題した講座の講師として、いけばなと茶道を教えた田淵喜久子さん（丹戸）は「若者の個性的な発想にとても驚きましたし、私も新しい発見がありました」と話しました。



いけばなに挑戦する学生